

家庭菜園



南部営農センター 園芸課
営農主幹 桧校 哲也



Q ミニトマトがしおれて育ちません。湿ってカビが生えたり、虫に食べられたようでもないのですが、何が原因でしょうか？

A まずは、連作障害を疑います。次は、ウイルスによる影響を考えます。

トマトやミニトマトは3年以上あけて作りなさいと言われます。トマトはナス科であるためピーマンやジャガイモの跡も良くありません。ナス科の次作には、豆を植えるといいでしょう。

接ぎ木苗を使う手もあります。青枯れ病など、連作するとかかりやすい病害に強い台木を使つてあります。病害は防ぎますが、連作による土壌養分の偏りは避けられません。やはり、連作を避けて、豆や土ものの野菜を植えたり、数年ごとに休ませたりしたほうが良いでしょう。

問題はウイルスによる黄化葉巻病です。

症状は、葉のふちが黄色くなり、巻きながら縮んでゆきます。症状が進むと株全体が委縮します。発病前

の果実は育ちますが、その後は生育が止まってしまいます。

ウイルスはタバコナジラミが媒介します。成虫の体長は0.8ミリほど、幼虫はそれより小さく、葉の裏にいます。植物の汁を吸うことで生きています。そのとき、唾液とともに、ウイルスを植物に注入してしまいます。

トマト、ミニトマトのほか、インゲン、ピーマンなどが感染します。

発病したら、根こそぎ抜き取り、ビニール袋に虫とともに密閉し枯らしてから処分します。タバコナジラミを見たら薬剤散布します。防虫ネットで囲う手段もありますが、0.4ミリ目合い以下でなければ入ってきてしまいます。とにかく、タバコナジラミにトマトを触らせないことが肝要です。

トマトを温室で育てているプロは、風よけ室から出入りして専用ネットで通気口までふさいで虫の侵入を防いでいます。

そこまでしてもウイルス病にかかる時があるそうです。一年中暖かくなつて虫の発生が多くなつたせいで

オンライン
農業塾は
コチラ



管内の
病害虫情報は
コチラ



家庭菜園
情報は
コチラ



タバコナジラミの成虫



出典:農研機構

トマト黄化葉巻病



出典:宮城県病害虫防除所

でしょうか。トマトを外の畑で作るのは難しいかもしれません。ナスやキュウリ、インゲン、ズッキーニなどの夏野菜はいつばいあります。来年は新しい野菜にチャレンジしてください。